

1. 提案の背景

共生社会の実現に向けたこれまでの全国的な取組

- ◆障害者週間において様々な意識啓発を展開
- ◆平成28年4月には、障害者差別解消法が施行 など

しかし、まさにこれから障がい者に対する差別の解消を強力に推進していこうとする中、津久井やまゆり園事件が発生

国民全体に
言いようもない衝撃と不安

2. 課題と対策の方向性

- 事件後、同調するインターネット上の意見

「生かして何の特になるのか」
「税金の無駄遣い」
「よくやった」

社会の中で障がい者に対する差別や偏見が助長される強い懸念

- 「障害者に関する世論調査」(H24.7 内閣府)

Q1. 障がい者を理由とする差別や偏見があると思うか？

ある(89.2%) ない

約9割が差別・偏見「ある」!

Q2. 障害者週間を知っているか？

知らない(71.4%) 知っている

Q3. 共生社会という考え方を知っているか？

知らない又は言葉だけ(59.2%) 知っている

国民全体に浸透していない!

対策の方向性

障がい者に対する差別、偏見を社会から排除するため、一層の取組みが必要!

3. 本県の取組

- 憲章を策定し、全国に発信(新聞/テレビ/ラジオ/インターネット等)

○憲章策定



○SNSパネルによる共感行動プロモーション



○全面広告



(H29.2.8 朝日新聞)

- ともに生きるかながわ社会推進週間(7月下旬)

毎年、事件が発生した7月26日を含む1週間を「ともに生きる社会かながわ推進週間」と定め、集中的に普及啓発を実施(29年度は、7月24日～30日)

- 共生社会の実現に向けた取組

共生社会を体感して、お互いの理解につながる体験が共有できる「みんなあつまれ2017」を開催(10月21日～22日)

4. 提案内容

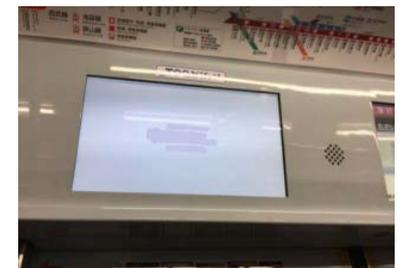
- 障害者週間における広報の取組みの充実について

広く障がい福祉への関心を高め、理解を一層深めるため、公共交通機関と連携した取組みなど、障害者週間における国の広報の取組みをより一層充実すること。

(広報のイメージ)



・ターミナル駅のデジタルサイネージ



・電車内の液晶モニター